



学校だより

4月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



出会いと感動で豊かな成長を

校長 西山 久美子

4月に入り、校庭の桜が「待っていました！」と言わんばかりに美しい花を開きました。上星川小学校の校歌にあるような「明るい花、光の川」のあふれる春がやってきました。



保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。この春77名の卒業生が上星川小を巣立ち、本日97名の1年生が入学しました。全校児童543名でのスタートです。きっと子ども達は新しい出会いを前に、わくわくどきどきの気持ちでいることと思います。その新鮮な気持ちを大切に、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

さて、8日は始業式・入学式。4月5日には新6年生が準備のため登校しました。式場設営、各教室の机の確認、掃除用具の補充、校内の清掃など、新しい生活を気持ちよくスタートできるように、最高学年としての意識を高くもち一生懸命に取り組んでいました。毎年の光景ではあるものの、新6年生のその姿からは、上星川小にずっと流れる「誰かのためにがんばる気持ち」が表れており、今年もいい上星川小になりそうだなと嬉しくなりました。

そして、今年の入学式は、初めて6年生が参加することになります。上星川小の特色である「なかよしペア活動」の6年生と1年生の最初の出会いです。手つなぎペアとなる1年生をリードしながら入場。入学式では「ようこそ星の子の仲間へ」の気持ちで1年生をしっかりと見守ります。6年生は、上星川小のリーダーである自覚も生まれ、1年生は6年生の笑顔と優しいサポートに安心でき、6年生への憧れの思いを抱くのです。この出会いは、6年生にとっても1年生にとっても、貴重な時間になることでしょう。

「出会いは人を変え、感動は人を育てる」というように、小学校の6年間に会う「人」や「もの」で、自分の見方や考え方が広がったり、様々な活動を通して得る感動で、心が豊かになったりするのだと思っています。令和6年度も、子ども達には「仲間と一緒に活動して楽しかったな。」「一生懸命やってみようになったぞ。」「誰かのために自分が役に立って嬉しいな。」など心が動く経験をたくさんしてほしいと思います。新年度のスタートにあたり、教職員一同、子ども達の豊かな成長のため、子ども達一人ひとりを大切にしながら、愛情あふれる教育活動を進めていこうと気持ちを新たにしております。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度もかがやく星の子への温かいご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。